Jueves 11 de Mayo de 1944
EL "ARGENTIN DJIJO"
NOTICIARIO ARGENTINO
Año XXI No. 2076

亞爾然丁時報

CORREO ARGENTINO CASA CENTRAL
FRANQUEO PAGADO CONCESION No. 953
TARIFA REDUCIDA CONCESION No. 718

發所行亞爾然丁時報社
ブエノス・アイレス市
ウスパリアタ街九八一
電話（二三）七〇五一
購讀料月額二弗五十仙

Director:
T. MIDZUNO
REDACCION:
Uspallata 981
U. T. 23, 7051

重慶軍八萬の包圍鐵環を壓縮
皇軍精銳部隊敵を急追猛進擊

【河南前線にて報道班員發十日】敵湯恩伯麾下の主力第十三軍及び殘編第十九軍の約八萬に對する包圍殲滅戰展開中のわが軍は山岳地帶に敵軍を刻々と壓縮中であるが、わが精銳部隊は右往左往する敗敵を隨所に捕捉猛攻敵に大打擊を與へてゐる、一方西北から猛威を振つて進出した我戰車部隊は山間の部落に逃込んで抵抗する敵を猛追擊して敗敵を殲滅しつゝあるが、敵は九日に至り遂に全面的抵抗を失ひ今や我軍の意儘にまかせる潰亂狀態となり、茲に湯恩伯麾下主力の擊滅戰は愈々最終段階に入つた

【河南前線にて報道班員發十日】襄城西北方に進擊中のわが部隊は禹縣を占領後引續き敗敵を猛追中のところ遂に九日午後禹縣西方の要衝臨汝をも占領し、さらにわが精銳部隊は敗敵を猛追中である

【東京十日】重慶のエーピー報道によれば河南戰線の日本軍は洛陽地區に重慶軍を壓縮してゐるが、重慶軍は日本軍の強力な包圍網から逃れんと必死となつて抵抗してゐると云つてゐるが敵側報道でさへも早くも重慶軍の敗戰を認めてゐる

わが陸鷲部隊
敵輸送路遮斷

【河南前線にて報道班員發十日】我航空部隊は地上作戰と呼應して九日戰爆聯合の編隊を以て隴海鐵道の要衝陝縣西方七十粁の童關西方にあるトンネルを爆破して完全に敵の重要輸送路を遮斷するに至つた

コヒマ北方に布陣の我砲兵隊
荒鷲協力下に敵陣地戰車猛攻

【印度最前線にて報道班員發十日】コヒマ北方に布陣するわが砲兵隊は我荒鷲隊と緊密な協力の下に五日夕刻コヒマ西方に布陣する敵砲兵陣地を完膚なきまでに粉碎した

この日わが航空部隊はコヒマ西北方に集結中の約三百の敵戰車及び自動貨車を襲擊して忽ち敵戰車三十輛を擱坐炎上させ其他自動貨車多數を爆破して敵に甚大な損害を與へた、又之と呼應するわが砲兵隊は敵陣地を猛攻擊して各所から焰々たる大火災を起さしめた、一方この日の夕刻コヒマ西方七十四粁の地點にあつて再び反擊に出んとした敵戰車隊に對し猛攻擊を加へ之を片葉微塵に粉碎して敵戰車兵十五名を捕虜にした

北ビルマ敵空輸部隊殲滅戰
勇戰奮鬪のビルマ國軍

【ビルマ前線基地十日】北ビルマの敵空輸部隊包圍殲滅戰はビルマ國軍の協力を得て引續き順調に作戰進捗中であるが、わが一部隊長はビルマ國軍の勇戰振りを讃へて次の如く語つた

ビルマ國軍の將兵は約一ケ月以上にわたり敵空輸部隊擊滅に奮鬪してゐるが、敵は空中よりの補給を得て辛じて最後的足搔を續けてゐるにすぎないが、然し敵は優秀な武器を賴りに未だ必死となつて抵抗してゐる、即ち敵は高射機關銃、迫擊砲、機關砲を主とし之に火焰放射器等も有する有力な部隊である、これに對しわが軍はビマル國軍と協力巧妙な包圍戰術を以て次々と敵軍を支離滅殺に陷らしめたが、敵はその後殘存部隊に對し引續き大型輸送機を以て後續部隊の補給を續けてゐるのである、然しながら敵は全くわが包圍下にありわが軍はその敵機に對しても地上砲火を浴せて敵航空部隊にも大打擊を與へてをり、ビルマ國軍の砲兵隊は果敢にも敵機を砲擊して一擧に四機を擊墜してゐる又敵にビルマ國土を侵されては不名譽であると勇敢にも敵を密林中から探し出して陣地爆破に奮戰するなど敵は最近いよいよその戰力減退するに至つたが敵司令部はこの部隊に飽くまで抵抗を續けさすべく飛行機から命令文を投下して嚴命するや、殘存兵はそれを見て大聲をあげて泣き喚いたといふが、その命令文は何んであつたか見るよしもなかつた、又敵司令部はあと一ケ月で戰爭は終るなどゝいつて極力士氣を鼓舞してゐる狀態であるが、ビルマ國軍はますます殘敵擊滅に勇戰奮鬪を續けてをり、今や全く無能と化した空輸部隊はたゞ空しく殲滅の運命を待つのみとなつた

國民日本歷史
高橋俊乘
〔94〕

かくて翌年正月小早川秀秋を元帥とし毛利秀元宇喜多秀家を副とし、黑田孝高を參謀とし、兩先鋒以下は前の通であつた。兵數凡そ十三萬ばかりであつた。然し今度は朝鮮の地を荒果てゝ、糧を敵にとることができず、海上の運輸もはかばかしくないのに却つて敵軍の要害が整つたので、我軍も功名を立てる機會が少かつた。十二月明將は淺野幸長を蔚山に圍んだ。淸正はこれを援け、共に籠城したが、忽ち食物がつき、城兵は紙をかみ、壁土を煎じて飮む樣な苦境にまで陷つた。折しも北風が烈しく吹き、大雪は地に積んで士卒の凍傷するものが多かつたが、淸正の意氣は少しも衰へなかつた。翌慶長三年二月小早川秀秋等が道を分つて來り援けた時には城內からも討つて出て、共に大に敵を破つたのである。然るに六月に秀吉が病み、八月十八日遂に伏見城に薨じた。年六十三。遺命して在外の軍を引上げさせた。前の役を文祿の役後のを慶長の役といふ。かくて前後七年にわたつた外征もその目的を達することができなかつたが、國威を海外に發揚したことはもとより非常な大功であつた。

我國史上、最も人望ある英雄は、恐らく豐太閤であらうその一生が極めて順調で、些の陰影もなく、陽春四月に花咲き、鳥歌ふやうである。而してその行動も非常に勇斷で且つ快活な人であつた。或時祐筆が醍醐の醍の字を忘れた秀吉はすぐに地上に指で大の字を大書して敎へた。また或時馬に乘つて參內したところがその道で卜女が四五人赤前垂をかけて見てゐたので、秀吉は馬上から聲をかけて「今から內裡で自分が能をするから、皆見に來よ」といつたといふ。その海內統一の大業をなしとげ、戰國の勇將を自由に驅使し得たのは、その英雄の資を以てするに、その快活の氣象で、人を疑ひ、又人を疑はしむることのなかつたのも大に與つて力があるのである。實に古今稀なる英雄であつた。後正一位を贈られた。今日は京都の別格官幣社豐國神社に祀られてゐる。

曾呂利新左衞門は堺の鞘師である。なかなかの滑稽家で秀吉に愛せられた。始めてお目見得に出た時、世にも珍らしい姓かなと訊ねられて「さればで御座います。私の作ります刀の鞘は固からず緩からず、少しも支へずにそろりと入りますので、曾呂利と申しをります」と答へた。二度目の時に又秀吉が姓名を訊くと「曾呂利曾呂利新左衞門新左衞門と申します」と答へた。「何故に繰返すぞ」と問ふと「先日拜謁仰付けられました節に申上げおきましたのに、重ねてお訊ね下さいましたので重ねて申上げましてございます」と答へたから、秀吉も面白がつて目を掛けてやつた或時秀吉が金銀で蟹を澤山つくらせて泉池に放つて眺めてゐたが、見飽いたので、召使共に、何か入用のある者には取らせるぞと言渡した。或は文鎭にするとて、或は茶釜の蓋につけるとて皆一つ宛もらつたが、曾呂利は「私は蟹に相撲を取らせたうございます」と言つたので「それでは一つ二つでは足るまい。殘は皆持つて行け」とて皆與へたと言ふことである。

第四十三　德川家康

室町幕府が衰亡して群雄が四方に割據し、爭亂の絕間がなく、人民は大いに苦しんでゐた時、信長が先づ海內統一の大業を起し、秀吉はこれをうけて遂に成就したのであるが、その薨じた後はその一族に有力な人がなく、子の秀賴は僅か六歲で諸將を統御する力がなかつたから、もしこの時に秀吉に代る程の英雄が出なかつたら、天下は再び爭亂の世となつたかも知れない德川家康は實に秀吉の後を承けて守成の功を全うした人であつた。

織田がこね羽柴がつきし
天下餅
たゞ安々と喰ふ德川

德川氏は新田義重の子の義季に出たと傳へられてゐる。家康の父松平廣忠は三河岡崎の城主であつた。家康は幼時竹千代と言つた。その領地が今川氏と織田氏との間にはさまつてゐたので獨立がむづかしがつた。それで今川氏に屬してやつとその存在を保つてゐた。竹千代は六歲で今川氏へ質にやられたが、道で織田信秀に奪はれて尾張にゐた。熱田の神主がある時竹千代に黑つぐみといふ鳥を贈つた。竹千代はこれをみて「この鳥は巧に他の鳥の鳴聲をまねるが自らの鳴聲を持つてゐない自分の才能のないものは、たとへ鳥でも大將の翫ぶものではない」といつて返した。後又今川氏の質となつて駿河靜岡に居つた。或時多くの子供が安倍河原で石合戰をした。一方は小勢で他の半分程しかなかつた。人々は皆大勢の方が勝つと思つてその方で見物してゐたが、竹千代は小勢の方が隊伍が整うてゐるのを見て、その方へ見に行つたら果して小勢の方が勝つたといふことである。

天皇陛下に拜謁賜はる
故國歸還武勳の將軍連

【東京十日】畏くも 天皇陛下におかせられては今般南方第一線から赫々の武勳を樹て歸還した陸軍中將中島、西原、大原、秋山、寺田、柴原の六將軍に對し本日正午拜謁仰付られた、御後特に午餐の陪食を賜つた

中南太平洋航空戰連日展開
各地戰線の我所在部隊敢鬪

【東京十日】中南太平洋各前線からの報道によればわが所在部隊は敵機來襲の都度多大の損害を與へて擊墜或は擊破してこれを擊退してゐる、即ちラボールにおいては六日、八日の兩日にわたり敵機群が來襲したが六日には三機、八日には五機を擊墜した、又ニユーギニヤ島東北端のわが陣地に八日敵機五機が來襲したが忽ちその三機を擊墜した、又ヤルート島においては六日敵機來襲したがその二機を擊墜した、アンボイナ島アンボイナに五日敵機來襲したがその三機を擊墜、チモール島においては六日敵機三機を擊墜したが何れも我方には全然損害なく敵機群に熾烈な砲火を浴せて何等敵に目的を果させず悉く遁走せしめた

尙八日にはショートランド島に敵驅逐艦二隻來襲したが、わが所在部隊はこれと交戰命中彈多數を與へて擊退したが其一隻には火災を起さしめた我方何等損害をうけなかつた

重慶軍宣傳の戰力
我河南作戰で露呈

【東京十日】わが精銳部隊の河南作戰は早くも重慶軍を殲滅狀態に陷らしてゐるが、これに關し井口情報局第三部長は本日の定例外人記者團との會見席上次の如く述べた

河南の敵のこうした事實こそ重慶軍の戰力過大は如何に宣傳的であるかゞわかるのである、從つて重慶側は今になつて外國にひたすら援助を求める結果となつたのである、然も今まで米英にこうした無力を宣傳的にごまかして來たが今日となつては如何に米英の援助にすがる共重慶軍が要求するだけは充されないであらう

米英機の歐洲各地盲爆
一日で百十一機を喪失

ストツホルム九日發伯林よりの報道によれば、米英空軍は獨逸並にその占領地帶に對し連日間斷なく來襲、銃後の獨逸國民並に同盟國々民の戰意沮喪を圖らんとして殊更らに民家地帶に對し盲爆を行ひつゝある、即ち昨日もベルリン及びブルンスウイック兩市上空に來襲した敵空軍戰爆聯合の大編隊は爆彈、燒夷彈を民家地帶に投下したゝめ市民と家屋、學校、病院等に多大の被害を出したが、敵機群を邀擊した獨軍防空部隊は一擧に敵機八十六機（内六十八機四發重爆擊機）を擊墜した、また聯合國空軍は獨軍占領下の西歐地帶に來襲、これを邀擊の獨戰鬪機隊は空中戰においてその十四機を擊墜した、さらに獨軍側はドーヴァー海峽上空、ノルウエー及びバルチツク海各方面に來襲した敵機十三機を擊墜、結局九日一日で合計百十一機を擊墜した

帝國學士院の
文化賞授與式

【東京十日】帝國學士院では本日午前十時より東條首相、松平宮相、岡部文相出席の下に文化賞授與式が擧行された先づ學士院長の式辭あつて後嚴肅裡に文化賞授與が行れ、總つて東條首相の演說を以て式を閉じた

駐日佛大使歸京

【關貢十日】アンリー駐日佛大使は先般來佛印にあつて芳澤大使、ドクー總督と種々要談を遂げつゝあつたが、このほど北京經由歸任した

東京の新聞

【東京十日】本日は先づどの新聞も第一面にわが荒鷲がまさに飛立たんとする勇姿の寫眞を掲載してゐるが、その說明にはニユーギニヤ島方面の荒鷲の姿でありこれが一度び敵上空に飛翼せば華々しい戰果をもたらすのであると、又毎日新聞には「からころとチコなりわたる河南戰野」これは重慶軍のチエツコ機銃の銃聲を聞いて思はず故鄕を思ひ出させると誰かが言つたと

▲【東京十日】外電によれば米國フイラデルフイア市警察署では九日ハーールド・メーソンなる者を捕縛したが、右はルーズヴエルト暗殺計畫を白狀したがその詳細は未だ不明である、そろそろルーズヴエルトも市民から狙れて來た

亞國の人口
昨年末現在調

亞國統計局は一九四三年十二月三十一日現在における全國の推定人口並に昨年度における人口增加狀況に關する統計を發表した、それによれば昨年十二月三十一日現在における亞國の總人口は一・三九六・六九四人で一九四二年十二月三十一日現在に比し一九八・三〇八人、即ち一・五%の增加であるが、右增加のうち一九一・六〇三人即ち九六・六%は自然增加であり、六・七〇五人即ち三・四%は移民入國による增加となつてゐる、さらに自然增加の內容をみるに昨年度における出生數は、三二六・二〇二人で前年度より一八・三〇四人增加、一方死亡數は一三八・〇五一人で前年度より三九人減じてゐる、また一九四三年度の武市及び自治州における婚姻件數は合計一〇一・五七八件で、前年度に比し四・六七九組の增加を示してゐる、なほ全國の人口分布狀態を示せば左の通り

ブエノス・アイレス市	二・四九七・四九四
ブエノス・アイレス州	三・六三三・二五六
サンタ・フエ州	一・六一三・五八六
エントレ・リーオス州	七九五・八六七
コリエンテス州	五五三・〇一三
コルドバ州	一・三五八・五二三
サン・ルイス州	二一〇・九四〇
サンテイアゴ・デル・エステーロ州	五三六・四九八
ツクマン州	五九〇・三三八
メンドーサ州	五五二・五四五
サン・フアン州	二三七・九二九
ラ・リオーハ州	一一六・六八八
カタマルカ州	一六二・一一五
サルタ州	二二三・四五六
フフイ州	一二四・九九六
直轄領合計	七一九・四四一
合計	一三・九〇六・六九四

大統領一行
カタマルカ着

アンデス地方訪問旅行中のフアーレル大統領並に隨員一行はメンドーサ、サン・フアン兩州訪問を濟まし九日午前十時十五分リオーハ州都リオーハ市に到着、同州干涉使以下軍官民多數の歡迎裡に驛頭から直ちに市內を一巡したのち步兵第十五聯隊における歡迎午餐會に臨み、午後は近郊ロスサウセス貯水池その他の視察を遂げる所あり、夜は州政廳における晚餐會に出席してリオーハ州訪問の日程を終へ、次いで大統領一行はカタマルカ州訪問のため十日午前九時カタマルカ市に到着した

SOBRE EL ORIGEN DE LA GUERRA ACTUAL

La edición castellana de la revista norteamericana "Selecciones del Reader's Digest", correspondiente al mes de abril, trae un artículo de un periodista que describe a su manera la vida japonesa, vista a través de su viaje a pie por el Japón.

El carácter tendencioso de la publicación y el propósito que tiene la revista de propaganda, que es más que conocido, aprovecha las informaciones de un escritor aventurero para dar a conocer sus impresiones como verídicas.

Entre sus narraciones inserta el periodista de ocasión, afirmación temeraria que no debemos dejar sin observarla. Dice, en efecto: "el incidente manchuriano de 1931 me decidió estudiar a los japoneses y a conocer a su país. Lo de la Manchuria no fué un incidente, ni tampoco un accidente. Fué la primera chispa del incendio que se propagó después hasta convertirse en conflagración universal".

El escritor, que nada sabe del Oriente, ignora su historia, la codicia de las potencias, las guerras diplomáticas y trata de buscar explicaciones para presentar honestamente a su país, puede que haya hecho la equivocación de buena fe, sin intención de culpar a un inocente. De todas maneras, es conveniente advertir la tamaña falsedad que aparece en una revista popular; no debe pasar sin ser protestada.

El asunto manchuriano, como el incidente chino de ahora, fué provocado por las potencias que instigaron a Chiang Kai-Shek, para enemistar al Japón de la China, prometiéndole ayuda para que haga la guerra contra el Japón, a fin de eliminarlo en la competencia comercial en ese vasto país.

El origen de la guerra actual fué preparado en el Tratado de Versalles y en la Conferencia Naval de Wáshington de 1919 y 1921, respectivamente. El dominio del mundo por las potencias anglosajonas fué el único motivo del incidente manchuriano que, de otro modo, habría desarrollado pacíficamente en provecho de la China, del Japón y de todo el mundo.

"Vivir y dejar vivir a los demás" fué, es y será el lema del Japón, que sabrá demostrar con los hechos, en vez de las pomposas promesas de las potencias occidentales, que nunca se cumplen, por lo menos en el Oriente.

廣告

アイデー・スキアフイーノ・アルメイダ嬢は今後本會とは何等の關係無之候間右紙上を以て廣告仕候

五月十日

日本語友の會

各位

OBSTETRICA
ELISA YAMAUCHI
Diplomada en la Facultad de
Ciencias Médicas de Buenos Aires
U. T. 26 Garay 3778
―當分の間往診のみ御引受致します―
ブエノス・アイレス醫科大學產科卒業
公認助產婦
山內エリサ
電話（26）ガライ 8778

新說『受胎期』

＝不姙婦人の爲めに＝

（二）

▲不姙克服◎

不姙婦人がこの受胎を豫測するには、自己の月經周期を調べて、次回月經の十二日から十九日に相當する時期を決定するのであるが、實際には複雜面倒になつて理解し難いから、大抵の婦人は、月經開始日から數へて十日目から十九日目までの期間を受胎期と考へるのが便利である。理論的に計算しても、大抵の婦人の受胎期の大部分はこの期間内に含まれるものである。只月經が著るしく遲れ勝ちの婦人は、次回月經を豫定して理論的に計算する必要がある。

不姙娠の婦人中、姙娠可能と診斷された婦人は、さらに姙娠しやすくなるやうに醫師の治療を受くると共に、自己の受胎期を知り、精子の能力は婦人性器内に這入つてからは一、二日にして消失することもあり三日までは維持されることもあるが、通例それ以上維持されぬものであるといふことを知つて、姙娠成立に對して効果的になるやうに善處するならば人事を盡したものといへるであらう。不姙婦人は姙娠の念願に凝り固まり悲觀しあせり、煩悶しやすいものであるが、かゝる心理狀態は姙娠成立の妨げともなるから、人事を盡した上は天命に任せて朗らかに溫かな氣分を以て生活することを希望して止まない。

姙娠成立の生理に關して以上述べた所は、現在多數學者の承認する所のものである。昔から最近十數年前までは上述のものとは大分違つた考へ方をしてゐた。例へば、精子は婦人の性器内に入つてから二週間以上も能力を保有するのが普通であるとか、卵子は排卵後二週間以上も受精能力を持つてゐるとか、また排卵は月經周期中何日でも起り得ぬものである、從つて婦人は月經周期中何日でも受胎し得るものであるが、最も受胎しやすい時期は月經開始後七日頃である、などの考へが行はれてゐたのである。然るに十二、三年以來學者の研究によつてこれらの考へは誤りであるといふことが證明せられて來たのである。

わが國においても、貝原益軒の養生訓には姙娠は何時でも成立するといふ說と、姙娠しやすいのは月經直後であるといふ意見とが記述されてゐる。また養生の見地から規定して二十歲台は四日、三十歲台は八日、四十歲台は十六日、五十歲台は二十日、六十歲台は三十日ごとに一回といふ數字を擧げてゐる。養生の目的と受胎の目的との間に矛盾を認むる人が多いならば受胎期の知識は一層有意義となるのである。貝原益軒は八十五歲の高齡を以て正德四年に歿してゐる。夫人は初と呼び正德三年に死亡し享年六十二である。即ち夫婦間の年齢の差は二十一年である。結婚年齢は調査し得ないが、假に婦人が二十歲の時結婚したとしても益軒先生は四十一歲である。益軒子なし兄樂軒の長子好古を養ひて養子となすと記錄されてゐる。貝原夫人は不姙であつたのである。何が原因であつたかは診察の上でなければ推定することを差控へなければならないのである。（完）

法律事務所
訴訟、物件賣買、一般契約事項、諸官廳への各種手續、其他法律事務一切の御相談に應ず
▲應接時間午前十時—十二時
辯護士　田上二丸
ウルグアイ街七六三番地四階
電話　四四—五五一八

集會案內

牧師　谷　力

◆子供日曜學校
毎日曜日午後二時より
◆日曜禮拜會
毎日曜日午後三時より
◆聖書研究と祈禱會
毎水曜日午後九時より
各集會の出席は自由、求道者の質問に應じます
市內マガジネス街一二三八
電話二一—三四八七
日本人基督敎會

日本食料品
榮養に富み、上品な味、日本人向!!
□鯛みじん
□ミリン干
□干海老
◈ピハの罐詰、其他新鮮美味な小魚類の干物
◈醬油及び味噌の大量釀造販賣致します
西坂商店
アウストラリア街一一〇一
電話　二一—二九一五

醬油取次
ブエノスの邦人製造の醬油取次販賣致します
ロサリオ市
コリエンテス街一一四四
西鄉

山本貴雄
市內エントレ・リオス九七三番地（二階）
電話　二三—〇九四一

第一回ニツパルクラブピンポン大會

日　時　五月二十五日　自午前十時
場　所　於花卉產業組合市場內
參加資格　ニツパル・クラブ員及その家族並に從業員
チーム　五人を以て一組とし、男女混合にても差支へなし、他に補缺一名を認む
試合方法　當日決定の上總當り得點に依て勝敗を定む
試合規則　當日發表
個人試合　チーム對抗における個人得點を以て資格決定し、其中より試合によつて優勝者を定む
女子試合　別に女子個人試合を行ふも試合方法は當日決定
使用球　ニツパル・クラブ支給の英國製半硬球〃ビジャー・エッキス〃印
賞　優勝チーム＝理事長杯、優勝メタル、第二位チーム＝メタル、第三位チーム＝クラブ賞、個人優勝者＝男女共優勝杯、優勝メタル、同第二位＝メタル、同三位＝クラブ賞
申込　來る二十二日までに、ニツパル・クラブ宛にチーム名、主將又は代表者氏名及び選手氏名を通告すると、但し補缺は登錄の要なし

ニツパル・クラブ

會員各位

CINE
Astoria
Suipacha 482　U. T. 35-0156
…… ◆ ……
▲毎日十二時半より二十四時まで連續映寫
▲入場料　一[illegible]
獨逸映画上映
※ウーフア社提供目下上映中

Dr. A. GODEL
MEDICO CIRUJANO
Bmè. MITRE 1676 1er. Piso
◎◎◎◎◎◎◎
最新式獨逸療法
淋病—根治療法
梅毒—六〇六號九一四號
婦人病　心臟　胃腸
肺　腎臟　神經系統
各科專科
◎日本人方には初診無料
X光線　デアテルミー
血液檢査
診察日　自午前八時至九時　自午後四時至八時
日曜、祭日午前中

日本座敷
文化住宅
建築
大工指物師　山本玄
市內　ビージャ・マルチレ區スフラテギ四四三
電話七四—（フロリダ）三二一五〇

代理業
Representaciones y Comisiones
S. FUJII
藤井精四郎
Calle Santa Rosa 47 - U. T. 98095
Córdoba

▼領事館
▼銀行
▼船會社……に近く
御乘船御下船の便よし……
◎地方より出京の節は是非御立寄願ひます
御下宿
御旅館
昭和館
ベンテシンコ・デ・マーヨ街三三〇
電話三一—五一四五

◎邦人間唯一染色の工場
◎設備完全　仕事入念
齋藤染色工場
アベヤジネダ市ラカラア街一四一七
電話二二—七七一五

KEROFIX
Talleres:　CHARCAS 4511
Unión Telefónica 71-9998

獨逸人の店
經濟的な本品をお勸め致します
製作、販賣、修繕、取付、交換引受致します
當方はカーサ・ボルカン以來御馴染の獨逸人で日本人間に數多の顧客を有し仕事は入念、迅速

ドクトル　ローベルス
Dr. Franz Robbers
Jefe de Clínica
Médica del Hospital
Alemán
CHARCAS 929
2.o piso
U. T. (31) 9792
…… ◆ ……
獨逸病院內科部長
ドクトル
ローベルス
▲診察時間
午後三時より五時まで
（土曜日を除く）
チャルカス街二九二九（二階）

鯛みじん
上品な味、榮養に富み、高尙な加工品として知られ殊に子供の食膳に喜ばれます
◆其他小魚類の煮干、ミリン干、干蝦等
◆銀產組合花卉組合及び西坂商店にありますから御求め下さい
マル・デル・プラタ市
梶原

ラ・ムスメ
Suipacha359 U. T. 35-2565
万年筆
パイロット　十五磅以上
パーカー　四十五磅以上
學生用　三磅以上
日西大辭典
ファン・カルボ師著　二十五磅
御贈答用品
取揃て御座居ます

カフェ
薩摩
有水君子
久松純雄
竹ノ内武義
加藤吉隆
（ヘネラル・オルノス街五四
電話　二三—〇五二六

Taller Mecanico
de G. GONZALEZ
ブランチヤ機カルデラの修繕其他
◎
San José 220 U. T. 38-5923

アリス
デフェンサ街一七一七
電話（三三）四三八二

◎スモーキング
十三磅より廿七磅まで
◎サコ・コルト
九磅五十仙より二十四磅まで
◎パンタロン・ネグロ
十六磅五十仙
◎カミサ・ブランカ
七磅五〇十磅五十仙
◎地方よりの御注文はピヤロンガ便にて、代金引換で送ります

時計販賣並びに修繕
○裝身具各種取揃へて居ります
○電話で御一報次第參上致します
東京堂時計店
エントレ・リオ街五四一
電話　三八—五六一七

Gran Taller
de
S. MIYAZONO
RIVADAVIA 3519 U. T. 62-2083
◬クのジョの御用命は弊店の專門◉へ
◬仕上能率一日三千本
◬入念　優美　確實で
迅速配達致します

◉便箋、封筒、名刺其他多少に不拘御用命願上ます
西和文活版印刷
ニッポン堂
サンチヤゴ・デル・エステロ街九七五
電話　二三—七八六四

MUDANZAS ALEMANA

信用第一
機械類・ピアノ・金庫其他凡ゆる荷物の運搬御用命下さい
電話（三三）二七三二
パセオコロン街一一六三

日本人
最古の洋服店
片山洋服店
ピエドラス街五七二
電話三三—五四五二

天幕と日除幕販賣
宴會用裝飾品の御用立
◎天幕と日除幕＝パテイオ、店舖、庭園及び貨物自動車用の物各種販賣
◎結婚式その他宴會用の椅子、コーパ、パーソ類、絨氈及び窓掛等の御用命に應じます
獨乙人の店『ハン』
サン・マルテイン街六八三
電話　三一—三二五六

ERNESTO
COCO
15 de Noviembre 2335
U. T 23-2835
ケルセン廉賣
永年日本人洗濯店並ニ御家庭ノ贔屓ヲ蒙ツテ居リマス

SASTRERIA "TORRO"
SARMIENTO 654
U. T. 34, Defensa 3931

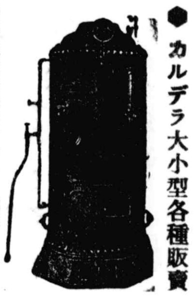
品質本位
仕立入念
—八十五磅より各種—
トロー洋服店

技術と設備を誇る
「大染色工場」
●日本人同業者各位に信用あり
ラ・プリマベーラ
ヂセアード街六六一
電話五九—三七一九

Biarritz
SASTRERIA FINA

仕立入念、服地上等、格安
[illegible]
コリエンテス街四一二
電話　三三—三五〇三

EUSEBIO MIRANDA
TALLERES
CORRIENTES 5802
Esq. J. B. Justo
U. T. 54 - 2390

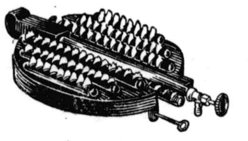


◆カルデラ大小型各種販賣
修繕及び製造[illegible]
日本人には特に[illegible]

JUGUETERIA
TORRO
SARMIENTO 540
U. T. 34, DEFENSA 1687
[illegible]

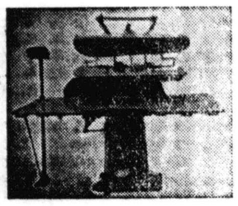
一般食料品
味噌醬油の釀造、素の[illegible]、罐詰、漬物、御一報次第配達致します
西阪商店
アウストラリア街一一〇
電話　二一—二九一五

TALLER MECANICO
— de —
Angel RODRIGUEZ
PERÚ 710
U. T. 34-1192
Particular U. T. 34-3537



新型經濟的
カルデーラ
ケマドール
の製作販賣

FRANCISCO SANTERO
Ex mecánico de la Cía. Hoffman
CONSTITUCION 3229
U. T. 45 - 0294
フランシスコ
サンテーロ



プランチヤ機並にセントリフーガ製作、販賣致します